
バカッブル手前の二人

MMR

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バカップル手前の二人

【Nコード】

N3139H

【作者名】

MMR

【あらすじ】

バカップルシリーズ第1弾。もうほとんど付き合っているという状態の二人が正式に付き合つことになる時はこんな感じ？

(前書き)

今回はいつもと趣向を変えて会話のみ。

「なあ」

「なによ」

「どうしてオレはお前と一緒にここにいるんだ？」

「あんたが予定なかったから」

「いや、オレが聞いているのはそういうことじゃなくてだな」

「なによ」

「なんで温泉で、しかも個室で、二人きりでいるんだってことだ」

「不満？」

「いや、不満とかそういうことじゃなくて……お前、この前好きなヤツがいるって言ってたよな？」

「……それがどうしたの？」

「どうしたの、っってお前なあ……仮にもオレは男だぞ、その相手に見られてたらどうするんだ」

「大丈夫、相手があんたなら絶対問題にならないから」

「なんだその断言」

「さあね、自分の胸に聞いてみれば？」

「なあ」

「なによ」

「どうしてオレはお前と一緒にここにいるんだ？」

「……わざと聞いてるでしょ」

「さあね、自分の胸に聞いてみれば？」

「バカ！ 誘導して理由を言わせようとしたってムダだからね！」

「ふーん、違う理由があるのか」

「うう、勝手に言ってなさいよこのバカバカ！」

「いててっ！ グーで殴るな、グーで！」

「叩かせるようなことを言ってるのはどこのどいつよー」

「オレかな」

「自覚してるのがさらにムカツク！」

「はいはい、じゃあちゃんとさえばいいんだな？ オレはお前のこ」

と好きだから」

「なっ！ そんな大事なことをさっさと言うなっ！」

「だからゲーで殴るな、ゲーで！」

(後書き)

- ・ 投稿最低文字数600文字ジャスト(小説家になろう基準)
- ・ 会話のみ

こんな条件で書いてみるとこうなる。

しばらく投稿していなかったのでちょっと遊んでみた。

ところで、投稿直前は確かに600文字となっていたのに、後で文字数を見てみたら538文字に。

スペースと改行を合わせると62カウントなので、その分は検索では引かれるのかもしれない。

(というか文字数という意味では538の方が正しいよね)

小説家になろうリニューアルには文字数カウントのあたりも変更される予定らしいですね。

期待してますヨ！もちろんこんな細かいことだけじゃなく全体的に。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3139h/>

バカップル手前の二人

2010年10月16日23時12分発行